



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月1日
上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	102,809	8.9	5,240	59.4	6,741	45.3	2,976	46.3
2021年3月期第3四半期	94,410	△12.2	3,286	△17.6	4,639	△5.4	2,034	△12.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 6,242百万円 (1.1%) 2021年3月期第3四半期 6,173百万円 (308.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	60.61	—
2021年3月期第3四半期	41.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	171,486	95,279	50.8	1,772.29
2021年3月期	176,508	92,441	47.8	1,719.40

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 87,061百万円 2021年3月期 84,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—	25.00	—		
2022年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	6.5	5,800	△0.0	7,700	△8.9	3,800	△5.2	77.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	49,757,821株	2021年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	634,361株	2021年3月期	673,995株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	49,110,383株	2021年3月期3Q	49,084,355株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済情勢は、主要国を中心にワクチン接種の普及による防疫措置の緩和と金融・財政支援対策等により、景気回復基調で始まりましたが、世界的な半導体不足や新型コロナウイルス感染再拡大によるサプライチェーンの停滞などにより各産業へのマイナス影響が徐々に顕在化してきました。

このような事業環境のもと、当社事業においては半導体業界向け事業が堅調に推移しており、その他の事業においても前年同期との比較では概ね販売増となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,028億9百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は52億40百万円（前年同期比59.4%増）、経常利益は67億41百万円（前年同期比45.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億76百万円（前年同期比46.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、世界的な半導体等の部品供給不足によりグローバル自動車生産台数は減少傾向にあるものの、販売が前年を上回って推移したことにより、当セグメントの売上高は598億78百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は15億30百万円（前年同期は営業損失3億48百万円）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、インド及び東南アジア地域の需要が回復したことにより、当セグメントの売上高は211億66百万円（前年同期比5.8%増）となりました。営業利益は長期的な収益確保を見込んだ採算割れ受注に伴う引当を実施したこともあり16億80百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、半導体需要の増大に伴う投資意欲が引き続き旺盛であったことにより、当セグメントの売上高は88億40百万円（前年同期比35.6%増）、営業利益は5億40百万円（前年同期比710.3%増）となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、中国、韓国の新造船市況の回復と、欧州、東南アジアでの修繕部品需要が増加したことにより、当セグメントの売上高は83億82百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は16億33百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、ガスタービン発電機向け補修用部品が減少したことにより、当セグメントの売上高は45億42百万円（前年同期比7.2%減）、営業損失は1億51百万円（前年同期は営業利益3億37百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第3四半期連結会計期間末の資産は1,714億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億21百万円減少しました。これは主として現金及び預金が75億8百万円、建物及び構築物（純額）が13億5百万円減少した一方、棚卸資産が41億47百万円増加したことによるものであります。

[負債]

当第3四半期連結会計期間末の負債は762億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億59百万円減少しました。これは主として長期借入金金が75億90百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第3四半期連結会計期間末の純資産は952億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億37百万円増加しました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益を29億76百万円計上し、為替換算調整勘定が15億79百万円増加した一方、剰余金の配当により24億55百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、在外子会社において固定資産の減損損失を計上したことにより、2021年11月10日の「2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました連結業績予想を下記のとおり修正しました。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 139,000	百万円 5,800	百万円 7,700	百万円 4,900	円 銭 99.77
今回修正予想（B）	139,000	5,800	7,700	3,800	77.37
増減額（B－A）	－	－	－	△1,100	－
増減率（％）	－	－	－	△22.4	－
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	130,513	5,802	8,447	4,010	81.70

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,662	25,153
受取手形、売掛金及び契約資産	28,253	26,880
電子記録債権	3,288	4,868
商品及び製品	7,402	10,057
仕掛品	6,280	6,621
原材料及び貯蔵品	9,279	10,429
その他	6,288	6,475
貸倒引当金	△344	△84
流動資産合計	93,110	90,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,370	22,065
機械装置及び運搬具（純額）	23,277	22,144
その他（純額）	13,867	13,606
有形固定資産合計	60,515	57,816
無形固定資産		
のれん	1,702	1,374
その他	1,795	1,626
無形固定資産合計	3,497	3,000
投資その他の資産		
投資有価証券	12,077	12,934
その他	7,420	7,439
貸倒引当金	△112	△108
投資その他の資産合計	19,384	20,265
固定資産合計	83,397	81,082
資産合計	176,508	171,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,253	6,825
電子記録債務	2,830	2,723
短期借入金	14,754	15,648
未払法人税等	1,431	1,123
賞与引当金	2,547	1,965
その他の引当金	522	700
その他	12,398	13,522
流動負債合計	42,737	42,509
固定負債		
長期借入金	23,447	15,856
引当金	316	315
退職給付に係る負債	16,052	15,929
その他	1,513	1,596
固定負債合計	41,329	33,698
負債合計	84,067	76,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,310	11,296
利益剰余金	68,224	68,746
自己株式	△226	△213
株主資本合計	89,799	90,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	402	491
為替換算調整勘定	△2,690	△1,111
退職給付に係る調整累計額	△3,116	△2,638
その他の包括利益累計額合計	△5,404	△3,259
非支配株主持分	8,046	8,217
純資産合計	92,441	95,279
負債純資産合計	176,508	171,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	94,410	102,809
売上原価	73,698	79,420
売上総利益	20,712	23,388
販売費及び一般管理費	17,425	18,148
営業利益	3,286	5,240
営業外収益		
受取利息	183	161
受取配当金	17	19
持分法による投資利益	1,173	768
その他	747	970
営業外収益合計	2,121	1,920
営業外費用		
支払利息	306	289
為替差損	39	—
操業休止費用	258	—
その他	164	129
営業外費用合計	769	419
経常利益	4,639	6,741
特別利益		
固定資産売却益	2	7
投資有価証券売却益	—	11
特別利益合計	2	18
特別損失		
固定資産売却損	5	18
固定資産除却損	42	60
減損損失	—	1,088
特別損失合計	47	1,167
税金等調整前四半期純利益	4,594	5,591
法人税等	1,559	1,616
四半期純利益	3,035	3,974
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,001	998
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,034	2,976

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	3,035	3,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	88
為替換算調整勘定	2,240	1,454
退職給付に係る調整額	502	427
持分法適用会社に対する持分相当額	338	297
その他の包括利益合計	3,137	2,267
四半期包括利益	6,173	6,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,222	5,122
非支配株主に係る四半期包括利益	951	1,120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	55,102	20,008	6,520	7,886	4,893	94,410	—	94,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99	100	—	1	—	201	△201	—
計	55,202	20,108	6,520	7,888	4,893	94,612	△201	94,410
セグメント利益又は損失(△)	△348	1,778	66	1,446	337	3,281	5	3,286

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額5百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	59,878	21,166	8,840	8,382	4,542	102,809	—	102,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91	91	—	0	—	183	△183	—
計	59,969	21,258	8,840	8,382	4,542	102,993	△183	102,809
セグメント利益又は損失(△)	1,530	1,680	540	1,633	△151	5,234	6	5,240

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。